

2014/7/10 6:30

【防災情報】七ヶ宿ダム管理所

低気圧に伴う降雨による防災情報 (第3報)

七ヶ宿ダムでは、ダムに流れ込む水量が増加し、防災操作による洪水貯留を実施しています。7月10日3時に約500m³/sの水が流れ込み、そのうち254m³/sをダムに貯め、下流白石川の水位上昇を緩和しています。

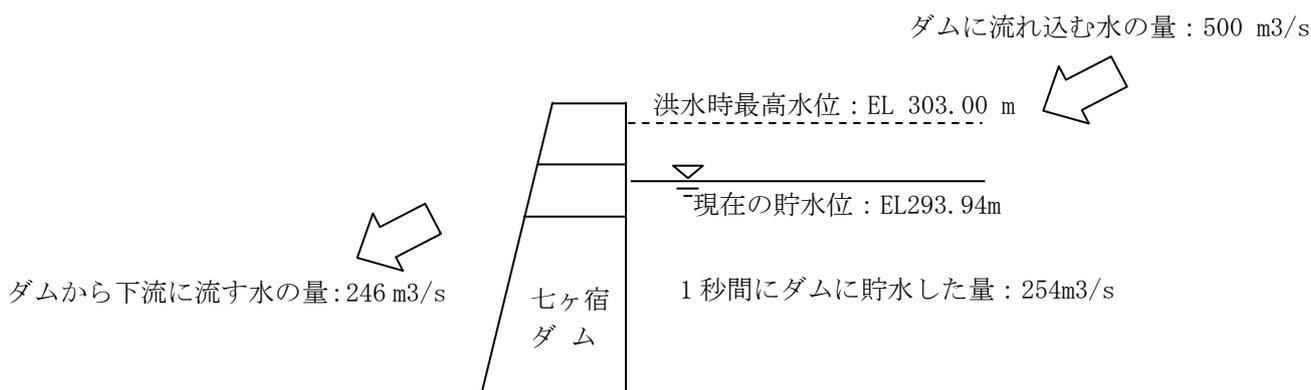
この防災操作により、白石地点(白石市半沢屋敷地先)の3時の水位を約0.38m低減させていると推定されます。

○7月9日1時頃から白石川上流域において豪雨が続き、七ヶ宿ダム流域での10日3時までの総雨量は約160ミリに達しています。このため大規模な出水になっています。

○七ヶ宿ダムでは、10日0時30分から防災操作による洪水貯留を実施しています。この防災操作では、ダムから下流への放流量を約250m³/sの一定放流とし、これを越える水を貯め込み、ダム下流河川の水位上昇を緩和しています。

○3時00分現在、白石地点での水位は2.5mですが、ダムによる防災操作が無かった場合の水位2.88mを0.38m低減させたと推定されます。

○ダム状況 (10日3時00分現在) (数字は速報値)



問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 七ヶ宿ダム管理所
TEL 0224-37-2122 FAX 0224-37-2471
ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/shichika/>
管理所長 阿曾貢貴 (内線201)
管理係長 高橋伸忠 (内線332)

阿武隈川水系 七ヶ宿ダムの効果 H26.7.10 3:00 梅雨前線による降雨【推定値】

○七ヶ宿ダムの防災操作によって下流河川の水位低減を図り、白石地点において、約0.38m水位を低減



白石地点

